

顧問作品解説

冬の日の子

クリスマスの時期、夜の街はイルミネーションに彩られ、賑やかになる。しかし、この写真のイルミネーションはどこか寂しげである。人の姿が見えないからだろうか、また光の滲みのせいなのか幻想的な光景でもある。

冬にしかできない裏技の一つに、即席のソフトフィルターがある。わざとレンズに息を吹きかけて曇らせて撮るのである。写真は原則、シャープに撮って欲しいのだが、内容によっては、そのシャープさが邪魔になることもある。何もかもはっきり写っているのが良いわけではない。写っていないけれど、何かを感じさせることができるのは良い写真。「不在と写真は相性が良い。」とは、ある著名な写真家の言葉である。

